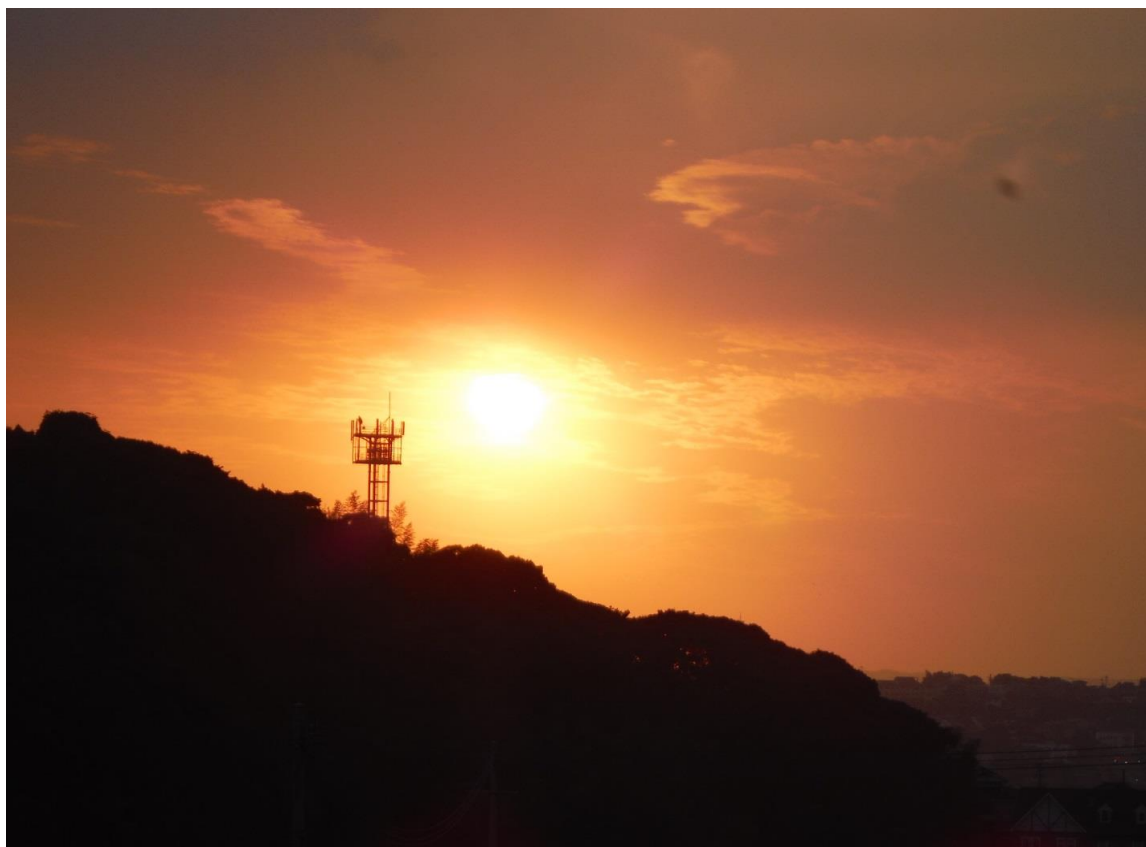


エコアクション21 環境活動レポート

平成30年度

対象期間 平成30年6月1日 ~ 令和1年5月31日



令和1年12月2日

株式会社おうず工業

はじめに

《産業廃棄物処理業界においてEA21取得は主流となった》



産業廃棄物処理の優良認定の基準となるEA21の取得は、どの企業でも必要不可欠となってきた。当社も優良認定は佐賀県の収集運搬業を残すのみとなり、企業としての価値向上につながった。

今年、長崎県産業廃棄物協会が名称を産業資源循環協会と変更になり、廃棄物という負のイメージからの脱却を図っている。当社も循環社会に向けての活動を重視すべく、事業の見直しに取り組み始めたところである。

今後は課題に取り組みつつ、当社の強みである機動力と腰の低さで契約業者様に寄り添える企業であり続けたいと思っております。

代表取締役 山崎 愛

環境方針

株式会社 おうず工業 環境方針

1. 基本理念

株式会社おうず工業は、平成11年に法人化した、建設業（主に解体業）と廃棄物処理業の事業活動を行う企業である。事業活動を行う上で、環境の保全を経営の重要課題の一つとして認識し、事業活動の中で環境に与える影響を適確に把握すると共に、地球環境及び地域環境に配慮した事業活動を行う企業を目指します。

また、当社は事業活動を行うなかで地域住民や地域環境に配慮し、環境と人にやさしい事業活動を行っていきます。この実現のため、以下の環境方針を定め、その方針に基づいて環境の保全及び継続的改善に努めます。

2. 環境方針

(1) 分別解体の徹底

事業活動に伴う廃棄物を最小限にする努力をし、再資源化を推進するとともに、粉じんの発生に配慮します。

(2) 廃棄物の削減、再資源化の推進

事業活動に伴う廃棄物を最小限にする努力をし、再資源化を推進します。

(3) 燃料消費量削減によるCO2削減の推進

エコドライブ及び運行ルート効率化を図る等、環境負荷への低減を推進します。

(4) 省エネルギー活動の推進

事業活動における消費電力の節減等、二酸化炭素排出の削減に努めます。

(5) グリーン購入の拡大並びに循環資源の活用を推進します。

(6) 環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び条例等を遵守します。

(7) 継続的環境改善の実施

環境マネジメントに関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより、さらなる継続的な環境改善につなげていきます。

(8) 情報提供と地域の環境活動・施策への協力

環境活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境に関する情報の提供を行うと共に、地域社会の一員として地域の環境活動並びに施策に積極的に参加します。

平成26年10月1日制定

株式会社 おうず工業

代表取締役

山崎 愛

1. 組織の概要

1) 事業所名および代表者名

株式会社おうず工業 代表取締役 山崎 愛

2) 所在地

本社 : 佐世保市上本山町1番地357
主たる事業所 : 佐世保市上本山町808番地4
(中里事務所) TEL0956-42-8611 FAX0956-42-8612
小野作業場 : 佐世保市小野町1665
吉井工場 : 佐世保市吉井町高峰17番4

3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先

責任者 : 山崎 鈴雄
担当者 : 片岡 裕次郎
連絡先 : 中里事務所に同じ
メールアドレス : ouzukogyo@juno.ocn.ne.jp
ouzukogyo@alpha.ocn.ne.jp

4) 事業活動の内容

- ・ 建設業
(主に家屋解体業；土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業水道設備工事業)
- ・ 廃棄物処理業
(一般廃棄物収集運搬業・産業廃棄物収集運搬業・特別管理産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業(中間処理))

5) 事業の規模

活動規模	単位	28年度	29年度	30年度
処理量(一般廃棄物収集運搬)	t	191.22	99.43	299.93
処理量(特別管理収集運搬)	t	0	0.47	0
処理量(収集運搬)	t	13214	16863	15827
処理量(処分)	t	6395	8262	7551
工事等の件数	件	96	103	106
売上高	百万円	144	141	176
廃棄物処理売上	百万円	169	182	192
従業員	人	39	43	42
中里事務所床面積	m ²	67.73	67.73	67.73
小野倉庫・資材機械置場面積	m ²	7192	7192	7192
吉井工場床面積	m ²	888.57	888.57	888.57
小野仕分・積替え作業場面積	m ²	1142	1142	1142

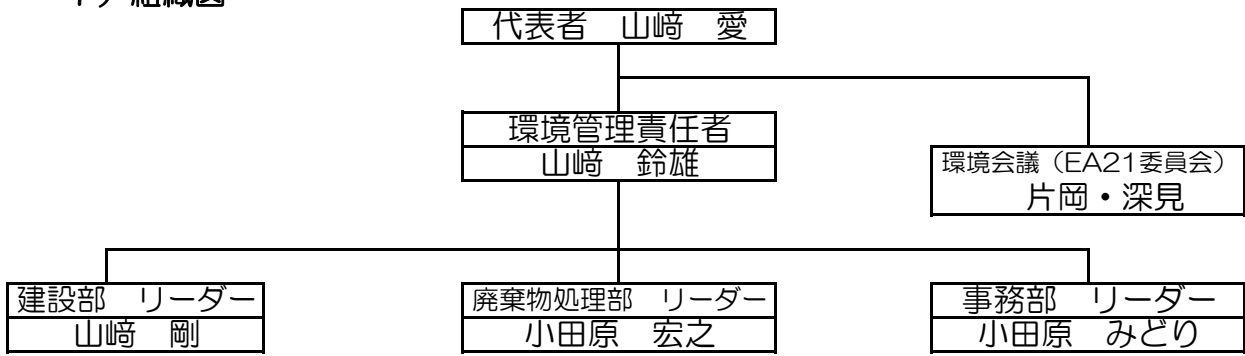
6) 概要

平成11年1月13日 有限会社おうず工業設立
平成26年8月21日 株式会社おうず工業へ組織変更
資本金 500万円
役員 代表取締役 山崎 愛
取締役 山崎 鈴雄
取締役 小田原宏之
取締役 山崎 剛

許可

別紙1のとおり

7) 組織図



建設業：許可一覧

許可番号	名称	代表者	許可年月日	許可期限	種別	土木 工事業	建築 工事業	大工 工事業	左官 工事業	とび・ 土工 事業	石工 事業	屋根 工事業	電気 工事業	管工 事業	タイ ル・レ ンガ・ フ ロック 工事業	鋼構 造物 工事業	鉄筋 工事業	ほ装 工事業	しゆ んせつ 工事業	板金 工事業	ガラ ス工 事業	塗装 工事業	防水 工事業	内装 仕上 工事業	機械 器具 設置 工事業	熱絶 縁工 事業	電気 通信 工事業	造園 工事業	さく 井工 事業	建具 工事業	水道 設備 工事業	消防 施設 工事業	清掃 施設 掃除 業	住所(所在地)	電話番号
長崎県知事 許可(般-26)第10222号	㈱おうす工業	山崎 愛	H26.9.28	R1.9.27	一般	○	○			○	○					○	○	○																〒858-0903 長崎佐世保市上本 町1番地357	0956-42- 8611

廃棄物処理業：許可一覧

業種	許可番号	名称	代表者	許可年月日	許可期限	処理方式	処理対象物													住所(所在地)	電話番号	施設所在地(駐機場)	備考													
							石膏 石膏	燃 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プラ スチック	紙 くず	木 くず	織 維	動 残	動 固	ゴ ム					金 属	ガ ラ ス	鋳 造	が れ き	動 心	動 死	ば い じん	1 3 品 目	ご み	粗 大 ご み			
産業廃棄物処分業	08021078280	㈱おうす工業	山崎 愛	H30.11.14	R7.11.13	破碎															☆												〒858-0903 長崎佐世保市上本 町1番地357	0956-42- 8611	〒859-6317 長崎県佐世保市吉井 町高峰17番4	☆：廃石膏 ボードに限る
	//	//	//	//	//	破碎						○	○	○	○						○	○	☆									//	//	//	☆：廃石膏ボード及 びコンクリートくず を除く。	
産業廃棄物収集運搬業	08011078280	//	//	H28.7.11	R5.7.10			○	○	○		●	●	●	●	○				●	●	●	○	●									//	//		●積替保管を 行う
	04200078280	//	//	H28.9.18	R5.9.17			○	○	○		○	○	○	○					○	○	○	○	○								//	//			
	04106078280	//	//	H31.4.14	R8.4.13			○	○	○		○	○	○	○					○	○	○	○									//	//			
	04000078280	//	//	H29.4.17	R6.4.16			○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○		○							//	//			
特別管理産業廃棄物収集運搬業	04156078280	//	//	H28.11.17	R5.11.16		○	○	○	○	○																					//	//			
	04000078280	//	//	H28.12.4	R5.12.3		○	○																	○						//	//				
一般廃棄物収集運搬業	佐世保市指合30番指第3号	//	//	H30.2.16	R2.2.15																											//	//		●積替保管を 行う (家電5品目・資 源物含む)	
	松浦市指合30市民第619号	//	//	H30.3.23	R2.3.22																										//	//				
	8101000022	//	//	H30.4.11	R2.4.10																									//	//					

※収集運搬業(佐世保市・長崎県・佐賀県)廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類・燃え殻・汚泥・廃油・動植物性残さ・鋳さい
以上13品目については水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじんであるものを除く。

※収集運搬業(福岡県)汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず等 以上7品目については水銀使用製品産業廃棄物を含む

※収集運搬業(福岡県)燃え殻・汚泥・廃酸・廃アルカリ・鋳さい・ばいじん 以上6品目については水銀含有ばいじん等を含む

運搬車両・建設機械の種類と台数

車両形式	台数	建設機械	台数
10t アームロール	2	コマツPC228	1
10t ダンプ	1	コマツPC138	1
8t アームロール	3	コマツPC128	1
8t ユニック	1	コマツPC120	1
8t ツカミ	1	コマツPC78	3
5t ユニック	1	コマツPC50	1
4t アームロール	5	コマツPC40	2
4t ユニック	3	コマツPC30	2
4t ダンプ	1	コマツPC18	1
3t アームロール	2	コベルコSK30	1
3t ユニック	1	FX15	1
2t アームロール	1	コベルコ007	1
2t ユニック	3	フォークリフト	5
2t ダンプ	5	コベルコSK135	1
軽トラック	2		
軽ダンプ	3		
乗用車	3		
軽乗用車	2		
軽箱バン	3		
合計	43	合計	22

中間処理施設

1. 破碎施設

名称	廃石膏ボードの破碎施設
設置場所	長崎県佐世保市吉井町高峰17番4
設置年月日	平成20年8月20日
処理能力	4.8 t /日(8時間) ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず(廃石膏ボードに限る)

2. 破碎施設

名称	廃プラスチック類等の破碎施設
設置場所	長崎県佐世保市吉井町高峰17番4
設置年月日	平成20年12月8日
処理能力	1.64 t /日(8時間) 廃プラスチック類
	1.03 t /日(8時間) 紙くず
	1.56 t /日(8時間) 木くず
	1.01 t /日(8時間) 繊維くず
	1.87 t /日(8時間) ゴムくず
	1.09 t /日(8時間) 金属くず
	2.184 t /日(8時間) ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (廃石膏ボード及びコンクリートくずを除く)

積替え保管の面積と保管上限

1. 所在地 佐世保市小野町1641番・1642番2・1665番

産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高
廃プラスチック類	6.53m ²	7.64m ³	容器保管
紙くず	4.01m ²	3.37m ³	容器保管
木くず	6.69m ²	12.04m ³	容器保管
繊維くず	6.53m ²	7.64m ³	容器保管
ゴムくず	6.53m ²	7.64m ³	容器保管
金属くず	6.53m ²	7.64m ³	容器保管
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	6.53m ²	7.64m ³	容器保管
がれき類	6.53m ²	7.64m ³	容器保管
上記のうち石綿含有産業廃棄物を含む			

2. 所在地 佐世保市吉井町高峰17番4

産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高
廃プラスチック類	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
紙くず	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
木くず	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
繊維くず	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
ゴムくず	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
金属くず	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
がれき類	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
上記のうち石綿含有産業廃棄物を含む			

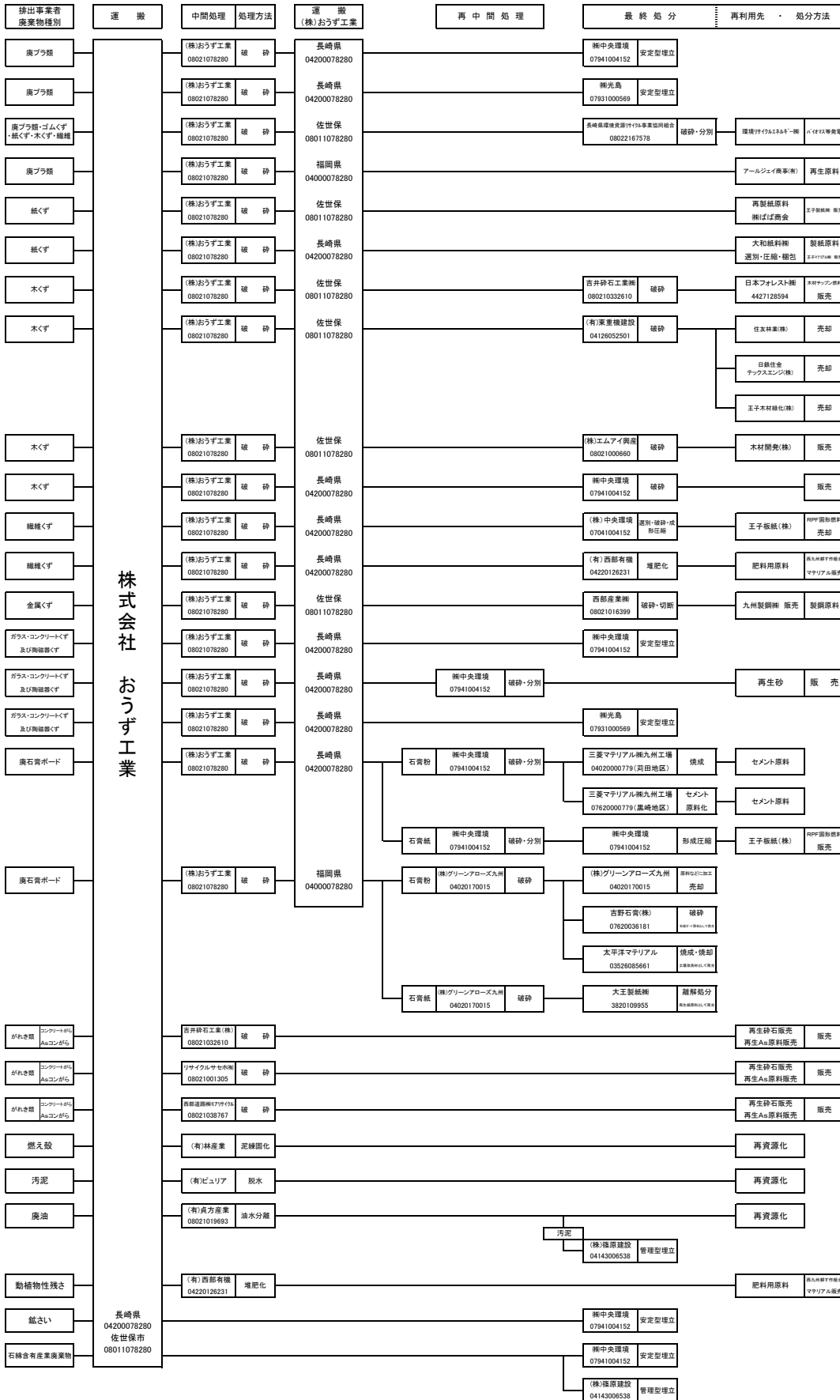
3. 所在地 佐世保市小野町1641番・1642番5

一般廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高
ごみ(可燃性、不燃性)	13.06m ²	15.28m ³	屋外(容器)保管
粗大ごみ(可燃性、不燃性)	13.36m ²	24.06m ³	屋外(容器)保管
資源物(かん類、びん類、ペットボトル古紙類、古布類)	6.53m ²	7.64m ³	屋外(容器)保管
家電5品目	6.53m ²	7.64m ³	屋外(容器)保管

4. 所在地 佐世保市吉井町高峰17番4

一般廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高
ごみ(可燃性、不燃性)	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
粗大ごみ(可燃性、不燃性)	2.00m ²	4.00m ³	屋内保管
資源物(かん類、びん類、ペットボトル古紙類、古布類)	2.00m ²	2.00m ³	屋内保管
家電5品目	2.00m ²	2.00m ³	屋内保管

産業廃棄物 フロー図



2.環境への負荷の状況

1) 当社における過去3年間の環境負荷は、次のとおりである。

※年度は6月から翌年5月とする。

項目	部門	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
購入電力量	建設部	kWh	2966.75	3704.5	3961.25
	廃棄物処理部	kWh	11461.25	13090.5	13693.75
	事務部	kWh	-	-	-
	合計	kWh	14428	16795	17655
	売上高当たり(百万円)	kWh	46.14	51.90	48.05
	従業員一人当たり(人)	kWh	368.37	390.58	417.87
化石燃料使用量	建設部	ℓ	34390.90	37898.29	37054.87
	廃棄物処理部	ℓ	67802.04	80909.03	76101.53
	事務部	ℓ	6481.77	5831.60	4658.58
	合計	ℓ	108674.71	124638.92	117814.98
	売上高当たり(百万円)	ℓ	347.54	385.16	320.67
	従業員一人当たり(人)	ℓ	2774.67	2898.58	2788.52
最終処分量	一般廃棄物	t	0	0	0
	産業廃棄物	t	588.615	278.27	278.27
	受託した産業廃棄物	t	3384.009	7259.4	6327.854
	合計	t	3972.624	7537.67	6606.124
	売上高当たり(百万円)	t	12.70	23.29	17.98
	従業員一人当たり(人)	t	101.43	175.29	156.36
再資源化率	一般廃棄物	%	100.00%	100.00%	100.00%
	産業廃棄物	%	57.47%	65.29%	77.25%
	受託した産業廃棄物	%	96.61%	71.68%	74.81%
	合計	%	254.08%	236.97%	252.06%
	売上高当たり(百万円)	%	0.81%	0.73%	0.69%
	従業員一人当たり(人)	%	6.49%	5.51%	5.97%
水使用量	合計	m ³	604	575	610
	売上高当たり(百万円)	m ³	1.93	1.78	1.66
	従業員一人当たり(人)	m ³	15.42	13.37	14.44

2) 当社における二酸化炭素排出量は次のとおりである。

項目	部門	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
購入電力量	建設部	kg-CO ₂	1732.58	2163.43	2313.37
	廃棄物処理部	kg-CO ₂	6693.37	7644.85	7997.15
	事務部	kg-CO ₂	-	-	-
	合計	kg-CO ₂	8425.95	9808.28	10310.52
化石燃料使用量	建設部	kg-CO ₂	88051.88	97642.48	95517.01
	廃棄物処理部	kg-CO ₂	177003.29	211174.12	199183.66
	事務部	kg-CO ₂	15065.27	13556.75	10831.08
	合計	kg-CO ₂	280120.44	322373.35	305531.76

3.環境への取組状況

＜環境保全の取組チェック結果＞

環境省発行の「環境活動評価プログラム」の環境保全の取組の自己チェックに準じて環境への取り組みについて自己チェックした結果は次のとおりである。

実施年月日 令和1年12月1日

施 策	評価点	満点	実施率 %
1. 事業活動へのインプットに関する項目			
1) 省エネルギー	137	172	80%
2) 省資源	30	40	75%
3) 水の効率的利用及び日常的な節水	24	30	80%
小 計	191	242	79%
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目			
1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	36	40	90%
2) 事業所等における一般廃棄物及び産業廃棄物(建設副産物等)の排出抑制、リサイクル、適正処理	99	84	118%
3) 排水処理、水質汚濁等の防止	0	0	0%
4) その他生活環境に係る保全の取組	30	30	100%
小 計	165	154	107%
3.製品およびサービスに関する項目			
1) グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)	28	34	82%
2) 受託した産業排気物の収集運搬・処分における環境配慮	89	104	86%
3) 施工・販売・提供する製品代予備サービスにおける環境配慮	33	38	87%
小 計	150	176	85%
4.その他			
1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	0	0	0%
2) 環境コミュニケーションおよび社会貢献	12	14	86%
3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体等にあたっての環境配慮	4	4	100%
小 計	16	18	89%
合 計	522	590	88%

★表の見方

自社に関係する環境保全に関する個々の施策ごとに、おおむね実施している場合は2点、一部実施している場合は1点、未実施の場合は0点として、各施策ごとに集計し、環境保全に関する施策の実施度合いを示した。

また、各取組チェック項目の効果に応じ、3点から1てんの重み付を行った。自社に関する施策をすべて、おおむね実施している場合は施策実施度合いが100%となる。

4.環境目標

当社は環境目標を次のように定める。(平成29年度～平成31年度)

1) 二酸化炭素排出量(省エネルギー活動・エコドライブ活動)

平成26・27・28年度の平均を基準として、売上高100万円当たりの数値を3年間で3%削減目標に掲げる。

項目	単位	基準年平均 / 100万円	3年後 3%削減目標値 88.04 kWh	平成29年度 ▲1%	平成30年度 ▲1%	平成31年度 ▲1%
二酸化炭素排出量 (省エネルギー活動・エコドライブ活動)	kg-CO2	2934.75	2846.71	2905.69	2876.05	2846.71
電力消費量						
建設部	kWh	56.13	55.63	55.96	55.80	55.63
廃棄物処理部	kWh	191.19	184.42	188.93	186.69	184.42
事務部	kWh	-	-	-	-	-
合計	kWh	247.32	240.05	244.89	242.49	240.05
二酸化炭素排出量	kg-CO2	144.43	140.10	143.27	141.54	140.10
燃料消費量						
建設部	ℓ	664.99	660.41	663.46	661.93	660.41
廃棄物処理部	ℓ	396.10	381.29	391.16	386.24	381.29
事務部	ℓ	42.18	41.97	42.11	42.04	41.97
合計	ℓ	1103.27	1083.67	1096.73	1090.21	1083.67
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2790.32	2706.61	2762.42	2734.51	2706.61

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力のH26年度の0.584kg-CO2/kWhを用いる。

2) 廃棄物の削減及び再資源化

平成26・27・28年度の平均を基準として、売上高100万円当たりの数値を3年間で最終処分量を0.03t削減目標に掲げ、再資源化率は3%向上を掲げる。

項目	単位	基準年平均 / 100万円	3年後目標値 0.03 t削減 3.00% %増加	平成29年度 処分量▲0.01t 再資源化率+1%	平成30年度 処分量▲0.01t 再資源化率+1%	平成31年度 処分量▲0.01t 再資源化率+1%
最終処分量	t	37.15	37.12	37.14	37.13	37.12
再資源化率	%	217.31%	220.31%	218.31%	219.31%	220.31%

3) 節水活動

平成26・27・28年度の平均を基準として、売上高100万円当たりの数値を3年間で0.03t削減目標に掲げる。

項目	単位	基準年平均 / 100万円	3年後 0.03m ³ 削減目標値 0.03 m ³	平成29年度 ▲0.01m ³	平成30年度 ▲0.01m ³	平成31年度 ▲0.01m ³
上水・地下水使用料	m ³	0.38	0.35	0.37	0.36	0.35

4) グリーン購入

エコマーク事務用品費の購入割合を50%以上とする。

項目	単位	基準年平均	3年後目標 50%以上	平成29年度 50%以上	平成30年度 50%以上	平成31年度 50%以上
グリーン購入	%	61%	50%	50%	50%	50%

5.環境活動計画の内容

1) 環境目標の責任者及び担当者

取組項目		目標	担当者	責任者
電力消費量の削減	建設部	平成26・27・28年度の平均を基準として、売上高100万円当たりの数値を3年間で3%削減	山崎 剛	環境管理責任者 山崎 鈴雄
	廃棄物処理部		小田原 宏之	
	事務部		小田原 みどり	
エコドライブ活動	建設部	平成26・27・28年度の平均を基準として、売上高100万円当たりの数値を3年間で3%削減	山崎 剛	
	廃棄物処理部		小田原 宏之	
	事務部		小田原 みどり	
廃棄物の削減		平成26・27・28年度の平均を基準として、売上高100万円当たりの数値を3年間で最終処分量を3%削減	小田原 宏之	
再資源化率の向上		平成26・27・28年度の平均を基準として、売上高100万円当たりの数値を3年間で再資源化率は3%向上	小田原 宏之	
節水活動		平成26・27・28年度の平均を基準として、売上高100万円当たりの数値を3年間で3%削減	小田原 みどり	
グリーン購入		エコマーク事務用品費の購入割合を事務用品費の30%以上とする。	小田原 みどり	

2) 取組の内容

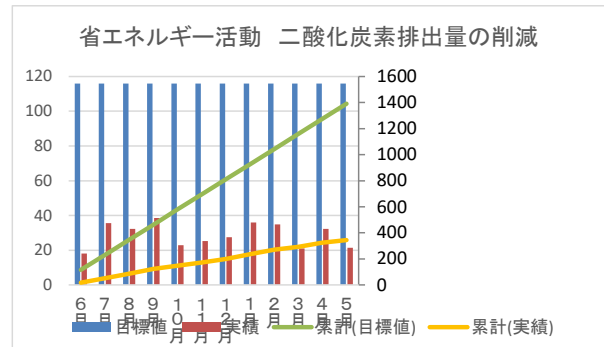
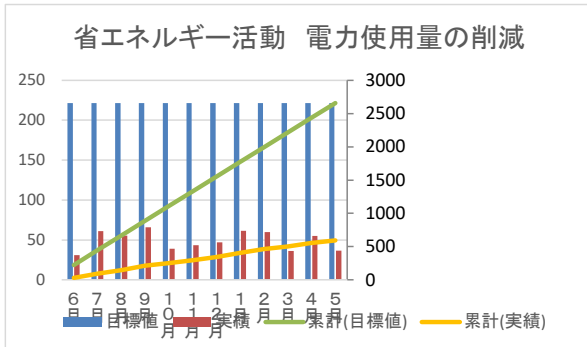
取組項目	取組内容
電力消費量の削減	① 不必要な照明消灯 ② 未使用時のパソコン等電子機器電源オフ・省エネモード設定の徹底 ③ 室内空調温度設定の徹底(夏季26度～28度、冬季20度以下) ④ グリーンカーテン、ブラインドの角度、通風等自然エネルギーの活用 ⑤ 電化製品・照明機器等の省エネルギー化推進
エコドライブ活動	① 効率的な運行ルートの設定 ② 社用車の効率的な運転の推進 ③ アイドリングストップの励行 ④ 定期的な車両整備の励行 ⑤ 冷暖房の温度管理の徹底
廃棄物の削減・再資源化活動	① 解体現場における分別解体の徹底 ② 再資源化率を向上し、廃棄物の最終処分量を減らす ③ ごみの分別徹底 ④ 紙使用量の削減 ⑤ 資源ごみを見逃さない
節水活動	① 水量を調節し使いすぎないようにする ② 水を流しっぱなしにしない ③ 水切れの良い洗剤を使用する
グリーン購入	① 事務用品は、エコマーク事務用品、グリーン購入法的号商品を可能な限り購入する。

6.目標達成状況(実績)

※年間目標を月割りにて評価
 ※達成済の所は網掛け有

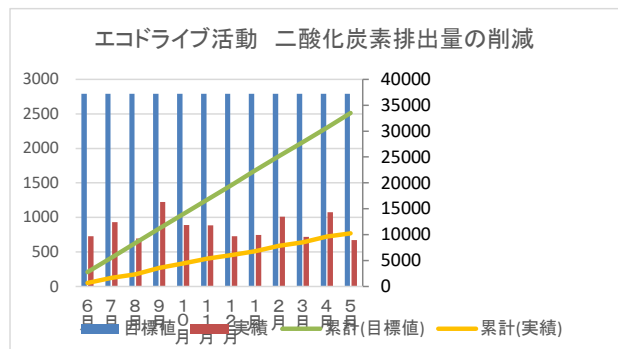
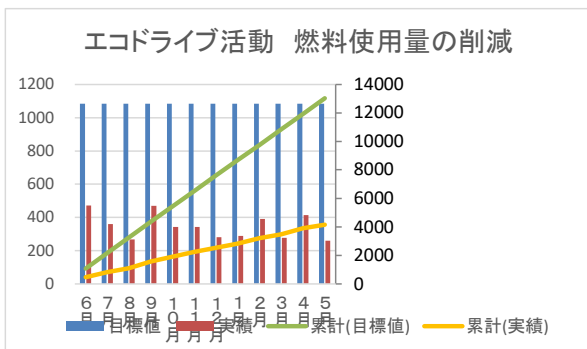
1) 省エネルギー活動

項目	単位	平成30年度 上期(6月～9月)			平成30年度 中期(10月～1月)			平成30年度 後期(2月～5月)			平成30年度 年間		
		目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
電力消費量		100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率
建設部	kWh	222.52	100.78	45.29%	222.52	94.42	42.43%	222.52	107.65	48.38%	667.56	302.85	45.37%
廃棄物処理部	kWh	737.68	350.77	47.55%	737.68	276.97	37.55%	737.68	253.38	34.35%	2213.04	881.13	39.82%
事務部	kWh												
合計	kWh	960.20	451.55	47.03%	960.20	371.39	38.68%	960.20	361.03	37.60%	2880.60	1183.97	41.10%
二酸化炭素排出量		100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率
建設部	kg-CO2	117.56	58.85	50.06%	117.56	55.14	46.90%	117.56	62.87	53.48%	352.69	176.86	50.15%
廃棄物処理部	kg-CO2	400.44	204.85	51.16%	400.44	161.75	40.39%	400.44	147.97	36.95%	1201.31	514.58	42.83%
事務部	kg-CO2												
合計	kg-CO2	518.00	263.71	50.91%	518.00	216.89	41.87%	518.00	210.84	40.70%	1554.00	691.44	44.49%



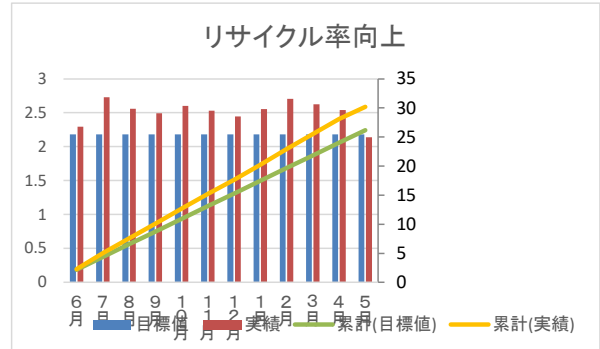
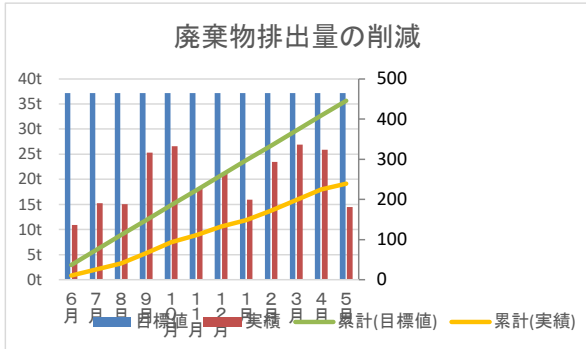
2) エコドライブ活動

項目	単位	平成30年度 上期(6月～9月)			平成30年度 中期(10月～1月)			平成30年度 後期(2月～5月)			平成30年度 年間		
		目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
燃料消費量		100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率
建設部	ℓ	2641.64	891.58	33.75%	2641.64	888.14	33.62%	2641.64	107.65	4.08%	7924.92	1887.37	23.82%
廃棄物処理部	ℓ	1525.16	1944.30	127.48%	1525.16	1497.81	98.21%	1525.16	1439.18	94.36%	4575.48	4881.29	106.68%
事務部	ℓ	167.88	59.95	35.71%	167.88	48.87	29.11%	167.88	48.57	28.93%	503.64	157.39	31.25%
合計	ℓ	4334.68	2895.83	66.81%	4334.68	2434.82	56.17%	4334.68	1595.40	36.81%	13004.04	6926.05	53.26%
二酸化炭素排出量		100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率
建設部	kg-CO2	6808.86	2297.05	33.74%	6808.86	2291.04	33.65%	6808.86	2908.63	42.72%	20426.58	7496.72	36.70%
廃棄物処理部	kg-CO2	4136.74	5092.19	123.10%	4136.74	3918.61	94.73%	4136.74	3765.61	91.03%	12410.23	12776.40	102.95%
事務部	kg-CO2	392.05	139.29	35.53%	392.05	113.64	28.99%	392.05	112.98	28.82%	1176.15	365.91	31.11%
合計	kg-CO2	11337.65	7528.53	66.40%	11337.65	6323.29	55.77%	11337.65	6787.22	59.86%	34012.96	20639.04	60.68%



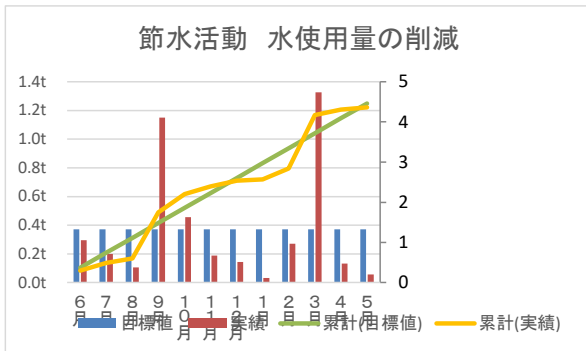
3) 廃棄物の削減及び再資源化

項目	単位	平成30年度 上期(6月～9月)			平成30年度 中期(10月～1月)			平成30年度 後期(2月～5月)			平成30年度 年間		
		目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
		100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率
最終処分量	t	148.48	66.51	44.79%	148.48	82.01	55.23%	148.48	90.79	61.15%	445.44	239.30	53.72%
再資源化率	%	881.24%	1007.57%	114.33%	881.24%	1012.95%	114.95%	881.24%	1000.48%	113.53%	2643.72%	3020.99%	114.27%



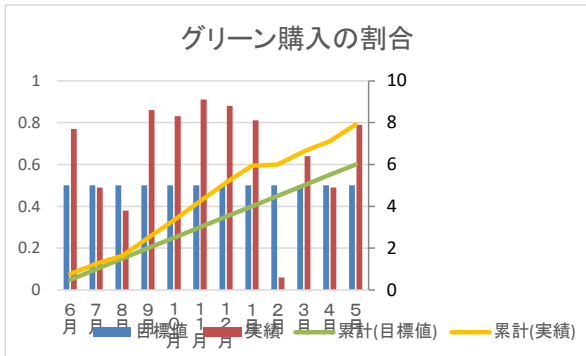
4) 節水活動

項目	単位	平成30年度 上期(6月～9月)			平成30年度 中期(10月～1月)			平成30年度 後期(2月～5月)			平成30年度 年間		
		目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
		100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率
上水・地下水使用料	m³	1.40	1.75	124.96%	1.40	0.82	58.79%	1.40	1.79	127.67%	4.20	4.36	103.81%



5) グリーン購入

項目	単位	平成30年度 上期(6月～9月)			平成30年度 中期(10月～1月)			平成30年度 後期(2月～5月)			平成30年度 年間		
		目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
		100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率	100%		達成率
グリーン購入	%	200%	250%	125.00%	200%	343%	171.50%	200%	198%	99.00%	600%	791%	131.83%



7.受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)					
			上期	中期	後期	年間		
収集運搬	廃油	/	0.00	0.00	0.01	0.01		
	汚泥		0.00	0.00	0.00	0.00		
	廃プラスチック類		346.23	456.48	455.81	1258.52		
	紙くず		59.80	60.92	69.70	190.42		
	木くず		267.71	349.33	359.66	976.70		
	繊維くず		16.77	0.85	1.30	18.92		
	ゴムくず		0.00	0.00	0.00	0.00		
	金属くず		420.05	501.18	390.91	1312.14		
	ガラス・珪石・陶磁器くず		254.17	311.15	371.97	937.29		
	石綿含有産業廃棄物(安定型)		3.80	29.40	0.00	33.20		
	コンクリートがら		22.00	81.00	820.29	923.29		
	アスコンがら		13.50	6.00	310.17	329.67		
	廃石膏ボード		38.63	36.13	32.31	107.07		
	石綿含有産業廃棄物(管理型)		0.00	1.00	0.51	1.51		
	混合(管理型含む)		0.00	0.00	0.00	0.00		
水銀使用製品産業廃棄物	0.64	0.26	0.49	1.39				
収集運搬量合計			1443.30	1833.70	2813.13	6090.13		
(ii) 中間処理	廃プラスチック類	破砕	407.77	591.96	584.86	1584.59		
		紙くず	61.82	71.33	78.43	211.58		
		木くず	379.65	454.96	432.79	1267.40		
		繊維くず	17.54	1.16	2.09	20.79		
		ゴムくず	0.00	0.00	0.00	0.00		
		金属くず	450.83	612.13	573.63	1636.59		
		ガラス・珪石・陶磁器くず	407.75	442.38	629.23	1479.36		
		廃石膏ボード	50.09	38.72	38.73	127.54		
	うち 再資源化等	破砕	333.27	575.03	561.56	1469.86		
		紙くず	61.82	71.33	78.43	211.58		
		木くず	379.65	454.96	432.79	1267.40		
		繊維くず	17.54	1.16	2.09	20.79		
		金属くず	450.83	612.13	573.63	1636.59		
		廃石膏ボード	50.09	38.72	38.73	127.54		
		再資源化等量小計	1293.20	1753.33	1687.23	4733.76		
中間処理合計			1775.45	2212.64	2339.76	6327.85		
(iii) 最終処分								
最終処分量合計			0.00	0.00	0.00	0.00		
(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分	安定型埋立	74.50	16.93	23.30	114.73		
		安定型埋立	0.00	0.00	0.00	0.00		
		安定型埋立	407.75	442.38	629.23	1479.36		
	再資源化等	再度中間処理(組合)	333.27	575.03	561.56	1469.86		
		再生紙原料(売却)	61.82	71.33	78.43	211.58		
		再度中間処理(組合)	0.00	0.00	0.00	0.00		
		再度中間処理	379.65	454.96	432.73	1267.34		
		再度中間処理(組合)	0.00	0.00	0.06	0.06		
		成形圧縮	13.62	0.01	1.07	14.70		
		再度中間処理(組合)	3.92	1.16	1.02	6.10		
		再生原料(売却)	450.83	612.13	573.63	1636.59		
		再度中間処理	50.09	38.72	38.73	127.54		
		再資源化等量小計	1293.20	1753.33	1687.23	4733.76		
		中間処理後処分量合計			1775.45	2212.64	2339.76	6327.85

自社産業廃棄物の収集運搬量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)			
			上期	中期	後期	年間
収集運搬	廃油	/	0	0	0	0.00
	汚泥		0	0	0	0.00
	廃プラスチック類		250.71	336.39	297.59	884.69
	紙くず		21.59	19.02	20.49	61.10
	木くず		1116.15	1256.72	1187.66	3560.53
	繊維くず		17.12	16.03	15.87	49.02
	ゴムくず		0	0	0	0.00
	金属くず		167.41	186.93	162.03	516.37
	ガラス・珪石・陶磁器くず		510.95	575.7	479.39	1566.04
	石綿含有産業廃棄物(安定型)		0	0	0	0.00
	コンクリートがら		872.8	939	870.6	2682.40
	アスコンがら		0	0	0	0.00
	廃石膏ボード		150.74	162.32	103.38	416.44
	石綿含有産業廃棄物(管理型)		0	0	0	0.00
	混合(管理型含む)		0	0	0	0.00
水銀使用製品産業廃棄物	0	0	0	0.00		
収集運搬量合計			3107.47	3492.11	3137.01	9736.59

自社産業廃棄物の収集運搬量(一般廃棄物収集運搬量)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)			
			上期	中期	後期	年間
収集運搬	一般廃棄物		88.90	120.15	90.88	299.93

社・受託した産業廃棄物の収集運搬量
16127

8.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

《省エネルギー活動》

平成30年一年通しての実績は、目標達成することができた。今後も目標値を掲げ各人が意識付けできるように教育することで、達成できるよう今後も取り組んでいきたい。5月には事務所のエアコンを取り換えたので電気効率も良くなると思われる。またグリーンカーテンなどの取組を充実させていきたい。

《エコドライブ活動》

今回も建設部でも目標達成することが出来たが、産廃部門で達成することが出来なかった。大型車両の導入が燃料消費増加の原因と思われる。全体としては、目標値を達成できているので、昨年しばらくは様子を見るとした基準値も、今後も産廃部門での達成が困難な状況が続くときは見直しも検討したい。

《廃棄物削減・再資源化率向上》

今年は、建設・産廃両部門でガラス陶磁器くずの取り扱いが増加しており、再生困難で埋め立てに回してしまう事からも目標達成が出来なかった。リサイクルとしての販路拡大が命題である。また、廃プラの受け入れ先が減少傾向にあるのでどこまでリサイクルできるかが課題である。

《節水》

現場において、佐世保市水道局と直接契約で使用する現場が多く、今年度も目標の達成に至らなかった。今後も市水道利用の現場が多くなることがみこまれるので、目標値の設定の変更も視野にして節水を心がけていきたい

《グリーン購入》

前回と同じで特殊伝票が高額であることから、その月の購入割合を下げってしまうが、それ以外ではグリーン購入の意識付けの成果が表れていると思う。今後も意識していきたい。

9.環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

社内で関連法規をチェックした結果、問題点はありませんでした。本年度はフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の第一種フロン類充填回収業者登録をしました。また建設業法の解体工事業を取得来年度早々に行う事が確定しております。環境関連法規への違反は過去3年間無く、訴訟等についてもありませんでした。利害関係者からの苦情、指摘もありませんでした。

令和1年12月17日
環境管理責任者
山崎 鈴雄

10.代表者による全体評価と見直し結果

EA21取得が主流となり、産業廃棄物は産業資源を循環させるものへと変化の時代が来ています。当社でも、今後も大きな課題となっております。そのためにも導入した大型車両が燃料使用量増加という結果を招いてしまいましたが、方向性には問題がなかったと思います。今後は小野作業所での選別・圧縮等の許可の取得に取り組み、廃棄物の再生に向けた取り組みを一層行っていきたいと思います。

令和1年12月17日
株式会社 おうず工業
代表取締役 山崎 愛

11.情報公開

当社の廃棄物処理に関する情報は、産廃ネット情報開示システム
<http://www2.sannpainet.or.jp> で公開している。
環境レポートは、当社、事務所並びに作業所にて閲覧可能である。